

楽じゃないけど 楽しい道を

Every day
is a new day !

「とにかく毎日が新しい日！」

進学とお金のはなし

みなさんが「進学する」という事は、経済的なことも考える必要があります。したがって、進路希望を考える際には、家族としっかりと相談しておくことが大切になります。では、お金がなければ進学できないのでしょうか。間違いではありませんが、経済的理由で希望の進路をあきらめることのないように、様々な奨学金制度があります。では、進学するためにはどのくらいのお金が必要なのでしょうか？

1年間の学習費

	幼稚園		小学校		中学校		高校(全日制)		大学(昼間部)		
公立/私立	公立	私立	公立	私立	公立	私立	公立	私立	国立	公立	私立
学校教育費	11万 9000円	32万円	5万 9000円	88万 6000円	12万 9000円	102万 2000円	24万 3000円	74万円	67万 3700円	68万 2100円	131万 9700円
学校給食費	1万 9000円	3万 7000円	4万 3000円	4万 6000円	3万 8000円	4000円	—	—	—	—	—
学校外活動費	8万 4000円	14万 2000円	21万 9000円	60万 4000円	31万 4000円	31万 2000円	16万 7000円	25万 5000円	—	—	—

※「文部科学省 平成26年度子供の学習費調査(幼稚園—高校)」のデータより編集部で作成 ※幼稚園から高校の「学校教育費」は、授業料や入学金、教科書費、通学費など、学校教育のために各家庭が支出した全経費。「学校給食費」は、完全給食、補食給食などの実施形態に関わらず各学校が徴収した経費の額です。「学校外活動費」は、学習塾、習い事などへの支出です ※大学の「学校教育費」の金額は「独立行政法人日本学生支援機構 平成24年度学生生活調査」の「学費」を掲載。授業料、その他の学校納付金、就学費、課外活動費、通学費の合計

2016.6.3 リビング京都

右上の資料は、雑誌の記事から抜粋したものです。おおよその金額ですが、公立高校に進学した場合1年間の学習にかかる費用は40万円ほど。3年間で卒業したとしたらその3倍が高校時代にかかります。私立高校に進学した場合は1年間で100万円ちかくかかります。さらに、大学への進学を考えているなら、高校卒業後も上表のように費用がかかることになります。4年で卒業したとしたら、上表の費用の4倍が在学中にかかります。

では、高校進学でどこにどれくらい費用がかかるのか、もう少し詳しくみてみましょう。

<公立普通科の場合> (例 山城高校 普通科)

- ・受検料 2,200円 ・入学金 5,650円 ・授業料 118,800円 (減免措置あり) ・学校諸費約 48,000円
- ・制服一式約 60,000円 ・体操服等約 18,000円 ・教科書・教材費約 23,000円
- ・研修旅行の積み立て 普通科約 80,000円~120,000円 / 文理総合科約 135,000円

* 授業料は国の支援金で免除される場合がありますが、それでも合計20万円程度のお金が初年度は必要です。
(年収が910万円を超える家庭は授業料が必要です)

他の公立高校もほぼ同じくらいですが、研修旅行の行き先によって多少の増減があります。

<私学の場合>

- ・受検料 2万円前後 ・入学金 10万~15万円 ・授業料 50万~ (減免措置あり) ・教育費 12万円
- ・施設設備費 6万円 ・制服等 5万~8万円 ・その他諸経費 3万~4万円

* 合計 90万~100万円程度必要です。私学においても、公立高校と同額の就学支援金 118,800円~396,000円が補助されます。(年収の目安 590万円まで) また、所得制限はありますが、「あんしん修学支援制度」を受けることが出来れば、最大65万円を給付してもらえます。満額給付されると公立と変わらない負担となります。また、京都府が「修学資金の貸与」を募集しており、予約申請をしておく、公立 18,000円、私立 30,000円まで毎月借りることが出来ます。

* 公立・私立ともに、タブレット代金など数万円の費用がさらにかかる学校が増えています。

進路については、家族とよく話し合って「お前のためなら必要なお金を用意してあげよう！」と言ってもらえるよう、日々努力を続けましょう。

右頁でもう少し詳しく紹介します。すべて保護者の所得に制限があります。

3年生には本号と一緒に案内チラシを配付しますので、ご覧ください

☆全員対象の就学支援金（給付）☆

国の政策で高等学校に進学すれば全員に給付され（返す必要が無い）、公立高校の場合は年額 118,800 円、私立高校へ進学した者にも年額最大 396,000 円の給付があります。公立高校の場合は世帯の年収 910 万円まで、私立高校の場合は世帯の年収 590 万円までが目安です。3年生には本号とともに案内を配付します。ご質問などがありましたら、公立高校については京都府教育庁指導部高校教育課（075-574-7516）、私立高校については京都府文化スポーツ部文教課（075-414-4516 または 4517）にお問い合わせください。

☆京都府が行っている事業☆

3年生には本号と一緒に案内チラシを配付しますので、ご覧ください

①あんしん修学支援事業（給付）

- ・生活保護世帯：92 万 9 千円まで給付（国の就学支援金含む）
- ・保護者の年収が約 590 万未満程度の場合：65 万円まで給付（国の就学支援金含む）

※高校へ入学後、申請します。

※注意！ これらの資金は入学が確定してから（在学証明が発行されてから）の支給となるので、入学金や制服代や教科書代など入学当初に必要な時期には間に合いません。

ご質問などがありましたら、京都府文化スポーツ部文教課（075-414-4516 または 4517）にお問い合わせください。

②修学資金の（貸与）事業…◆

高校入学後にも申請できますが、中学校在籍中に予約申請をすることができます。

公立 18,000 円以内（月額） 私立 30,000 円以内（月額）（自宅外は 5,000 円加算できる）
（年収約 472 万円以内である事）

☆社会福祉協議会が行っている事業☆

年間所得が生活保護世帯の 1.8 倍までの収入である家庭は、事前に手続きをしておけば、入学前に必要な資金を借りることができます。

①教育支援金：修学するために必要な経費を、他の公的資金貸与制度への「つなぎ資金」として 6 ヶ月を上限として借りることが出来ます。

②就学支度金：高校や高専などへの入学に際し、必要な経費を借りることができます。

*どちらも公的資金が支給された段階で全額一括返済となります。

ご質問などがありましたら、中京区社会福祉協議会(075-822-1011)にお問い合わせください。

どの奨学金も申請してから認定されるまでに、最低 1 ヶ月程度必要です。資金に関するご相談はお早めにご相談ください。また、高校によっては独自に行っている奨学金制度があったり、使えない制度があることもあります。希望する高校に直接聞くこともできます。

新型コロナウイルス感染拡大防止により、学校説明会等のほとんどに人数制限が設けられています。できるだけ早めに申し込みをしてください。また、学校説明会等が延期・中止になることもありますので、各高校の HP でよく確認をして、参加するようにしてください。

<公立高校に関して>

・「2020 京都府公立高等学校スクールガイド」

・京都府公立高校紹介サイト「まるごとスクール Web」 <http://www.kyoto-be.ne.jp/kyoto-be/kyoto-public-hs/>

・京都府教育庁指導部高校教育課 http://www.kyoto-be.ne.jp/koukyou/cms/?page_id=246

・京都市立高等学校最新情報サイト <http://www.kyotocity-hs.jp/>

<私立高校に関して>

・「2021 京都私立中学・高校ガイド」

・京都府私立中学高等学校連合会 <https://www.kyotoshigaku.gr.jp/>